

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 奥羽大学大学院咬合機能修復学
元教授 嶋倉 道郎 先生
2. 演題 支台歯形成の要点
3. 日時 平成28年10月 6日(木)17:00~18:00
4. 場所 歯科棟南4階 歯学部特別講堂

5. 抄録

支台歯形成は歯冠補綴治療を行う場合、最も重要と言ってもよいステップであり、診療に携わる歯科医にとって必須のテクニックの一つである。日常の臨床で遭遇する機会も多く、誰もが数えきれないほど経験しているはずである。しかしながら出来上がった作業模型を見てみると、これでどうやってワックスアップするのか、疑問を持たざるを得ないような形成も目にする。そこで今回は支台歯形成がうまくいかないのはどこに原因があるのか、初心者が陥りやすい欠点を提示し、うまく形成するためにはどこに着目すればよいのかを、具体例を交えながら分かりやすく解説したい。

連絡先： 三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)